

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ



題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 小坂井 盛朗  
 幹事 舎人 経昭  
 会報・雑誌委員長 伊藤 健文

No.13

## 手を貸そう

## Lend a Hand

2003~2004年度 RI会長 ジョナサン・B・マジアベ

きょうの例会  
 第1015回 平成15年10月21日(火)

優良従業員表彰

先週の記録  
 第1014回 平成15年10月14日(火) 雨

◆“奉仕の理想”

◆斉唱 “四つのテスト”

◆出席報告

会員	67(61)名	出席	47名
出席率	77.04%		
前々回	9月30日(修正出席率)		98.31%

### 舎人幹事報告

1. 本日例会終了後、諮問会を開催致しますので歴代会長・幹事の方は2階橋の間にお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員はお残り下さい。
3. ロータリーの友・ガバナー月信・職業奉仕事例集国際大会パンフレットが来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

### 小坂井会長挨拶

先日、大阪の出版社(株)新風書房さんから「シベリアを生きる」「虜囚の果てに」の本2冊と絵はがきを送って頂きました。共にシベリア抑留体験記です。私も「シベリア零下40度」と云う本を出しましたが色々な方の同様な本を頂いて沢山持って居ります。

それぞれの方が体験された貴重な本ばかりですが、ラーグリー(収容所)、場所、仕事によって随分と違いがあり、後世に語り継ぎ残さねばならないとの使命感と無念の涙をのんでシベリアに散った多くの戦友を弔う為にも体験を語る、本を残すと云う気持ちは皆さん一緒の思いである事が判りました。私も妻や子供にシベリアの話語った事は本を出版する迄一度もありませんでした。それは余りにも悲惨な惨い話ばかりだったからです。

でも50年も経ちますと先輩の書かれたものが出廻りすすめられて「シベリア零下40度」を出版しルブラ王

山で出版記念パーティーを盛大に開きました。復員して45周年記念として平成5年5月28日ですから10年の月日が過ぎました。

本日も私の体験した真実をお話し致します。

さて昭和20年10月のハルピンの兵舎からリュージュトン迄歩いてソ連の貨物車に乗せられシベリアに向ったのですが、狡猾なロシア人に「シベリア鉄道で日本へ帰してやるから荷物はいくらでも持って行け」と云われ持てるだけの食糧、衣料他沢山の荷物を持って歩きました。

丸一日半掛ってようやく辿り着いた列車は客車では無く貨物車50tの有蓋車で、左右が上下に板仕切りしたところに約50人ずつ乗せられて出発しました。シベリア鉄道のチタが分岐点で折返しウラジオストックへ廻ると云っていたのに列車はどんどん西へ向います。すると又々ロシア人のデマです。「実はシベリア鉄道は二本有る途中でその線に乗り換えてウラジオストックへ向うのだ」と云うのですが、これも嘘パチ、バイカル湖の手前の寒村のトリムスカヤと云う駅に到着。それから山道を永い間歩かされました。そして死の収容所に到着。山の中の西部劇の砦の様なところに1500人程たむろし、ドイツ人の掘った穴の上に家を建てるとすぐに1日の休みも無く作業をさせられました。木を切りログハウスの様な兵舎の建設です。

この頃は食糧は自前ですが豊富、体力も有る位ですから作業は大いに捗り数日で兵舎を作ってしまった。それ迄は野宿。シベリアの10月は夜は零下10~15度位だから大変。たき火に足を突っ込んで靴に火がついてびっくりして飛び起きました。

完成した兵舎は生木で出来て居り中に居れたものではありません。狸いぶして表へ飛び出し寒くて又中へ入るの繰返しでした。そして翌日から山での伐採作業が始まりました。そのノルマを聞いてびっくり。それは寒ければ早く兵舎を作れと云われ元気にまかせて猛スピードで仕上げた作業から分析して1人の1日のノルマを算定したとの事です。これが後に命取りになってしまいました。

伐採する木はだんだん遠くなり往復に時間が掛る。食糧は無いに等しい。寒さは零下40度、これでは体が持ちません。栄養失調で痩せ細り次々と戦友は死んで行き満州より連れ去った捕虜約60万人、その内6万余人が異国の土となりました。

この数字が如何に大きいのか？

9. 11米国の同時多発テロ・イラク戦争での死者の数と比べれば一目瞭然です。

日露不可侵条約を破って終戦一週間前に漁夫の利を得んものと満州に攻め込んだロシア。

終戦8月15日以降に北方四島を占領し今だに返さないロシア。日本人は諦めが良いのでしょうか？この四島を取られ莫大な漁業補償費を払い続ける日本。タラバ蟹が高いのもその為なんですよ。

◆講演

“国家財政の現状について”

中日新聞 編集局経済部 部次長 小田 昌孝氏  
(紹介 竹内(眞)君)



今の日本の国の借金は総額で650兆円余り。国民一人当たりで500万円を超えている。その大半は国債によるもので、例えば2003年度の当初予算でみると発行額は約36兆円にもなる。不況による税収の落ち込みを補うためだが、国債の大量発行によるいろいろな危険性が指摘されるようになってきた。このままでは日本の経済に悪影響を及ぼすという不安が高まっている。

その一つは、国債の元利支払いに充てる国債費が膨らんできたことだ。本年度の予算で17兆円にもなっている。国債費が増えると財政の硬直化を招き、新しい創造的な事業をやる余裕がなくなってくる。

二つ目は国債の価格が下がり、長期金利が暴騰する恐れが出てきたこと。発行された国債が何らかの理由で大量に売りに出されると、国債の価格は暴落する。

そうすると国債をたくさん買っている銀行や生保が大損をする。さらに国債の価格は長期金利と逆に動くので、国債価格が下がれば長期金利は上がる。長期金利は住宅ローンと連動しており、結局は住宅ローンが跳ね上がって国民の暮らしを直撃することになる。

それではどうやって国債を中心にした借金を返すかということになるが、普通にやっていたのでは返済するのは不可能だ。そこで消費税などの増税ということになる。しかし、国は既存の税を上げるだけではなく、新たな税を設けて私たちの財産を徴収するのではないかと思われる。そうした疑念がどうしても捨てきれない。

なんとといっても、今、日本の個人資産は約1400兆円ある。その1割でも140兆円だ。なにも650兆円の借金を一気に返さなくても、とりあえず3分の1でも返済できれば一息つける。新たな税と消費税などのアップを組み合わせて220兆円や230兆円をひねり出すことは可能だろう。どういう新税をつくるか、どういう手順で課税するかについて現段階で国が明確なプランを持っているとは聞いていないが、そう遠くない時期に国は何らかのアクションを起こす可能性がある。理不尽な新税、増税が強行されないか、監視していかなければならない。

チャリティーランご案内

日時 11月1日(土) 雨天決行  
12時～スタート

場所 名城公園(北園・噴水予定地)  
名古屋YMCA主催第10回チャリティーランに今年も新世代委員会より1チーム参加し、ローターアクト5名と加藤(重)新世代委員長が走者として出場致します。

当日はお弁当の用意を致しますので、応援に来て頂ける方は27日(月)までに事務局へ連絡願います。又、応援の方もメーカーキャップ扱いとなります。

ニコボックス

浅井 誠寿

某画家との立ちばなし。

秋の雲なりと 彼謂ふ 然と応ふ

小坂井盛朗

久しぶりに名古屋祭の英傑行列と大須の大道芸を見て来ました。

会期中2日間は良い天気。翌日はドンシャブリ。恵まれてましたね。

油田 弘佑・藤田千津子

萩原喜代子・林 哲央

池田 隆・池森 由幸

伊藤 健文・加藤 重雄

加藤 大豊・菊池 昭元

小林 明

小山 雅弘

松居 敬二

宮尾 紘司

水谷 祥督

奥本 文也

佐野 寛

澤田 淳治

鈴木 理之

魚津 常義

吉田 玄

小田様をお迎えて。

神崎 住恵

会員誕生日祝い。

小杉 啓彰

・牧野 登志子

・松永 正史

・水野 民也

・森 幸一

・佐久間 良治

・笹野 義春

・鈴木 正男

・舎人 経昭

・吉田 節美

和田 正敏

先月はニコの担当が出来ませんでしたが、皆様のご協力に感謝します。

夫人誕生日祝い。

伊豫田 博明

結婚記念日祝い。

水野 賀績

会員誕生日祝い。結婚記念日祝い。

成田 良治

夫人誕生日祝い。結婚記念日祝い。

合計

77,000円

次回例会

平成15年10月28日(火)

友愛の日